

道路整備促進期成同盟会 高知県地方協議会 令和4年8月9日(火) 提言活動報告

道全協
こうち

令和4年8月9日(火)、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化や防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保などについて、国に対して提言活動を行いました。

提言項目

- 一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化
- 一、5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保・計画的な事業推進と5か年加速化対策後も、予算・財源を別枠で確保し、継続的に取り組むこと
- 一、ミッシングリンクの解消、四車線化とダブルネットワークの構築及び開通予定時期の早期公表
- 一、道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和五年度道路関係予算は、所要額を満額確保すること



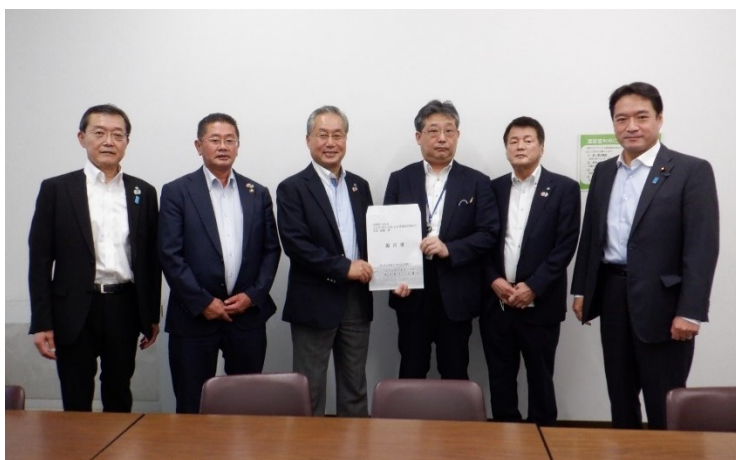
【提言概要】

- 提言項目の説明等(池田会長)
 - ・ミッシングリンクの解消、ダブルネットワークの構築により強靱な道路が必要。
 - ・5か年加速化対策は2年で約半分の予算が消化され、次を考えなければならない。
- 国道33号の整備促進(小田副会長)
 - ・国道33号では5か年加速化対策予算等の活用により着実に整備が進んでいる。
 - ・観光資源も豊富で、防災面、観光振興に寄与する道路整備は不可欠。
- ★尾崎衆議院議員
 - ・高知の自治体は観光拠点の整備など、道路を活かす意識が非常に高い。

左から、尾崎衆議院議員、小田副会長(越知町長)、藤井事務次官、池田会長(中土佐町長)、中平副会長(四万十市長)、松延理事(東洋町長)

国土交通省 藤井事務次官からは、

- 東西に長い高知県の道路は防災面・観光面でも非常に重要。
- 5か年加速化は次を見据えていかなければいけない。まずは来年の予算をしっかりと確保すると御理解あるお言葉をいただいた。



【提言概要】

- インター線の整備等(中平副会長)
 - ・新規事業化された宿毛内海道路では、県がインター線を整備予定。
 - ・工事用道路として利活用も視野に、国・県・市町村が連携して整備を進める。
 - ・南海トラフ地震に備え、防災拠点の整備や、緊急輸送道路の無電柱化を推進している。
- 2時間圏域の増加等(松延理事)
 - ・8の字完成後には、県東西の観光地まで2時間でアクセスが可能。
 - ・自然豊かな本県の観光地へ更なる誘客が期待。
 - ・観光振興にも大きく寄与する8の字整備に、必要な予算の確保をよろしくお願いする。

左から、小田副会長(越知町長)、中平副会長(四万十市長)、池田会長(中土佐町長)、坂本主計官、松延理事(東洋町長)、尾崎衆議院議員

財務省 坂本主計官からは、

- 5か年加速化が3年目、まずはしっかりと加速化を進めていく。
- ウクライナ・コロナ等と課題のある中、何が必要なのか国交省とよく調整をしていくと力強いお言葉をいただいた。